



巖 神 青



地元からも多くの方が復興への祈りを捧げた



六県会員を代表して
藤原会長が玉串を奉奠

東日本大震災 物故者慰霊祭並復興祈願祭齋行

東北六県神道青年協議会主催の東日本大震災物故者慰霊祭並復興祈願祭は本年度当県が主管し、三月十一日(日)午前十一時に下閉伊郡山田町の山田漁港を会場に開催した。

七年目となる今回、継続だけではなく、より意義深い祭儀とするため、関係各位と協議、改めて原点を確認し、慰霊の誠を捧げるとともに、復興への思いを新たにすべく「復興祈願祭」の名称を加えた他、地元の意向を伺い、開催時間も変更した。また、震災年に誕生した子供が小学生となっていることから、小学生が祭儀に関わることが出来る方法を模索した。

宮古市下閉伊郡支部長に多大な協力を得て、地元小学校への周知、舞姫の依頼、さらに山田町内への氏子へ周知も賜り、県神社庁長、神道青年全国協議会長はじめ役員、地元支部長、総代会長を来賓に迎え参加者は総勢百八十名。

会場からは海を臨み、晴天ではあったが寒風を感じながら一同奉仕し、祈りを捧げた。

東日本大震災物故者慰霊祭並復興祈願祭

舞姫育成事業

慰霊祭の大きな柱の一つとして地元の小学生に浦安の舞を奉納いただくという案は、平成二十九年福島での慰霊祭にて神道青年全国協議会 長友会長「震災後に誕生した子供ももう小学生」という言葉から生まれた。震災の爪痕が残る中、育まれてきた子供の姿はまさに復興の象徴ともいえる。地元小学校へ周知・参列の案内を行うとともに舞姫の募集も行ったところ、四名の申し込みがあった。大変有難い申し出であり、年が明け平成三十年から七回の練習を地元山田八幡宮（佐藤明德宮司）を会場にお借りして開催。菅原史穂子常任委員が指導、各種用具は佐藤宮司から借用し、実際の祭儀では、久慈市稻荷神社

（稲村和雄宮司）から装束類を借用し、奉納いただいた。初めての試みでありながら失敗が許されないうち、多くの協力のおかげで、成功した事業となった。



練習の様子

舞姫
山田町立南小学校
一年 佐々木寧真
二年 坂本果穂
二年 藤原慧蓮
山田町立豊間根小学校
二年 佐藤希乃花

地元との連携

地元の宮古市下閉伊郡上澤支部長から多大なご協力を賜ったことは前述したが、地元神職・総代の皆様に関係者への周知のご協力を賜った他、会場となった山田漁業関係者には、休日にも関わらず会場の提供や備品の提供など便宜を図っていただいた。また当日の神饌は地元の商店などに依頼を行ったが、魚を無償で提供いただいたことをはじめ、多くの励ましを賜った。地元からの期待も大変高かったことが伺える。





平成三十年度定時総会

平成二十九年報告承認、平成三十年度活動方針並びに予算決定

議事

- 1、平成二十九年年度会務報告の件
- 2、平成二十九年年度収支決算の件
- 3、平成三十年度活動方針案の件
- 4、平成三十年度予算案の件



藤原庁長より激励賜る



小野寺常任委員が議長を務める

平成三十年度定時総会は、四月十九日（木）岩手県神社庁を会場に、藤原神社庁長を来賓に迎え、会員二十三名出席の下、開催された。冒頭、藤原庁長より、昨年の衆議院議員選挙の支援活動に対する活動への御礼があった他、間近に迫った憲法改正運動への対応をはじめ、譲位が行われる前後は多くの活動があり、青年会の果たす役割は大きく期待を込めた祝辞を賜った。議事は小野寺常任委員が議長に選出され、進行。まずは平成二十九年度の会務報告と収支決算の件が上程され、異議なく承認された。続いて本年度の活動方針案と予算案が上程され、異議なく決議された。

総会後は、場所を盛岡市大通の「八兵衛」に移し、盛大に懇親会が行われた。

神道青年全国協議会
第七十回定例総会

四月二十六日(木)に神社本庁にて標記総会が開催され、代議員として高橋会長、小保内副会長が出席した。平成二十九年年度会務報告並びに各種決算、平成三十年年度活動方針、事業計画・予算などが決議された。また、総会に先立ち行われた表彰式にて、当県「親子禊錬成会」の事業が「教化事業賞」として表彰された。



創立七十周年記念事業
戦歿者慰霊沖繩研修事業

既にご案内の通り、左記の通り開催いたしますので、奮ってご参加願います。

- ・主催 岩手県神道青年会
- ・期日 平成三十年十月二日(火・赤口)～十月四日(木・友引)

・趣旨 「承前啓後」というテーマを思うとき、我が神道青年会発足のきっかけは、かの大戦であったことを思わずにはいられない。天皇皇后両陛下が平成二十七年にパラオを、そして平成二十八年にフィリピンを、更には一年を通して平成が使用される最後の年となった本年三月二十七日二十九日には沖繩を行幸啓され、慰霊の誠をささげたのは記憶に新しいところである。この行幸啓は、現地でしかないし得ない、体験できないことがあることを教えてくれた。当会に於いても、日本唯一の地上戦が行われ激戦

地となった沖繩にて慰霊祭を執り行い、犠牲となられた御霊の御前に立ち、御霊の思いに寄り添い慰霊の誠を捧げ、そして青年会発足の当時に思いを致すとともに、皇太子同妃時代より数えて十一回もの行幸啓を重ね、常にお寄せになられた両陛下の沖繩への大御心を追体験することは、これからの青年会にとって大きな意義があるだろう。

当会発足の根源を見つめなおし、行く先を見据える。その一助となるべく当事業を計画するものである。

- ・参加費 十万円
 - ・参加申込並びに問い合わせ先 平成三十年七月十五日(日)迄に事務局へメール又は御電話にてお申し込み下さい。
- 岩手県神道青年会創立七十周年記念事業部会 事務局 菊池祥隆 宛

活動報告

電話 〇八〇―五七四一―六四一七

(自平成三十年一月至五月)

一月二十四日 第五回役員会(盛岡八幡宮)

二月十一日 第五十一回建国記念の日奉祝県民大会 助勢活動

三月十一日 東北六県神道青年協議会東日本大震災物故者慰霊祭並復興祈願祭

三月二十七日 第六回役員会(盛岡八幡宮)

四月十九日 臨時役員会(岩手県神社庁)、平成三十年

度定時総会(岩手県神社庁)

四月二十六日 神道青年全国協議会第七十回定例総会(神社本庁)、菊波の友垣会(明治記念館)

発行所 岩手県神道青年会
住所 二戸市福岡字松の丸二一呑香稻荷神社社務所内
電話 〇一九五―二三三―二〇四二
FAX 〇一九五―二三三―八九〇三